

## 変更事項(来年度も含む)

### 1. 県内大会使用球について

H22年度より県内大会使用球は新しい規格のボールを使用する。使用球のメーカーはその年度の全国大会使用球にあわせる。

H22年度 男子：モルテン 女子：ミカサ

## 確認事項(H16年度～)

### 1. 選手変更について

・メンバー変更は連続する大会日程の時は、変更不可能！ただし、1日でも間があいた場合は変更可能。大会期間が連続で開催されない場合、選手変更を許可する。

ex. 大会が 月3日(土)と 月5日(月)の場合。3日・5日の両日変更可能

### 2. 鳴りものを使用しての応援

#### 高校での使用

・高校会場の体育館での鳴り物の応援は従来から使用しているペットボトル・メガホンばち・しゃもじなどは使用可！但し、手すりなどを体育館の器物をたたかないように各チームは配慮しておこなう。また、大会本部が不適切と判断した場合、使用を禁止してもらう。

#### 公共施設での使用

・プラスバンド等、上記以外の鳴り物を使った応援の場合、公共の施設のみで使用可とする。ただし、公共の施設管理者からの要望がある場合、また、大会本部が使用を見送った方がよいと判断した場合、使用を禁止する。

・応援席・場所については競技運営上支障にならない場所で行い、大会本部から指示があった場合、それに従ってもらう。その他、席・場所については応援者同士の話し合いで行い、トラブルについては各校で解決すること。

・応援は主審のサーブの吹笛前から主審のジャッジが行われるまでは行わない。

### 3. インターハイ予選の抽選について

・地区総体の結果をもとに各地区1位を抽選時にシードしたがH16年度よりフリ抽選とする。

### 4. 県大会新人戦の抽選について

・1日目の抽選時に2日目の組合せ+補助員の割り当ても決定するように抽選を行う。

### 5. 春季大会の新1年生の取り扱い。

・入学式以前に大会がある場合は、学校長の許可があれば出場可能である。

### 6. 参加資格

・「同一学年での出場は1回限りとする」の解釈について

(原級留置や年度途中で退学して転校等する場合に限られる。)

H16年度から「出場=コートに立つ」と考える。つまり、ベンチに入っているも実際コートに立たなければ出場したことにはならない。と解釈される。(従来は「入部=出場」となっており、入部した時点で出場したことになっていた。)

よって、競技部としては

1. 県内の各支部の地区大会からの記録用紙(IF)を3年間保管する。

(地区大会は地区の競技担当者が保管・県大会は競技役員が保管)

2. 県外からの転校してきた部員の場合。選手の自己申告とともに、現監督が前の学校に必ず確認をとり、競技委員長へ報告する。競技委員長と総務委員長は独自に確認を取り、もし違反がわかった場合は試合は無効となる。

3. 外国人留学生についてはパスポートで年齢を確認する。(パスポートの写しを提出する)

## 7. 引率

当該校の職員（校長・事務職員等も可能になった）\*引率問題があるので詳細は校長に相談し、了承を得ること。

要項の文言では

引率責任者は、校長の認める当該校の職員（校長・教頭・教諭・助教諭・講師・常勤講師・実習助手）とする。引率者は、全ての行動に対して責任を負うものとする。ただし、監督が非常勤講師の場合、引率責任者が必要

## 8. 監督

・校長が認める指導者 = 外部指導者も可能。

要項の文言では

監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポ - ツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

（保険証の写し等を大会本部に提出すること）

## 9. ベスト8の次大会組合せ時の取り扱い。

選抜大会は新人戦ベスト8をそのまま折り返しで配置する。

春季大会は選抜大会ベスト4を固定し、セカンド4はシード位置を抽選で決定する。

県総体は春季大会ベスト4を固定し、セカンド4は前回大会で1位チームと対戦したチームが再び対戦しないように配慮し、抽選を行う。

## 10. 大会要項に大会使用球を明記する。

## 11. 県総体で総合開会式に出たチームは練習が出来にくいので、試合前の練習を少し長めに取る。（備前地区で大会が開催された場合。）

## 12. 新人大会の2日目（リーグ戦）は相互に補助員を出し合う。

## 13. 新人大会のベスト16のチームが選抜大会の出場権を得る。尚、シードチームが敗れてもベスト16として扱う。

## 14. 開始式後は第1試合のチーム以外は早急にフロア外に出ること。

## 15. テレビ放映がある大会日はプロトコルはVリーグ方式で行った。（選抜大会は公式練習5分で）また、試合前のコートを使った練習は10分間とした。

## 16. 新規格ネットは総体と選抜大会の最終日のみ使用する。

## 17. 新人戦の練習割当について - 第1試合の2チームが試合直前の練習割当てに当てる。

## 18. 各支部で行われる県大会会場の公共の体育館は、その支部にある公共施設を使用する。

## 19. 地区大会申込の時に6名に満たないチームの申し込みは受け付けない。

## 20. H21年度から大会のエントリーが12名 14名（最大14名の競技者で構成してよいがリベロをのぞく正規競技者は最大12名）リベロ・プレイヤー・ゼッケンは使用禁止とする。

## 21. H21年度よりJVA・MRS（個人登録システム）よりプリントアウトしたチーム加入選手一覧は春季県大会には必ず提出をしていただく。（地区予選は提出を求めない）

## 反省事項

1. 昨今、会場確保（公共体育館・学校体育館）が厳しいものがあり皆さんのご協力を今後もお願いしたい。

2. JVA登録及び大会当日のチェックは大きなトラブルもなく行うことが出来たことに感謝しています。ただ、何件かは当日の確認で手間取ったケースがあった。